

職業別にみた求職者の就職状況について

ハローワークで求職活動を行う求職者数については、希望する職業別にその件数を集計し、公表しているが、本レポートでは職業別の有効求人倍率と就職率について整理した。

1. 有効求人倍率と就職率の推移

有効求人倍率と就職率について、長期での推移をみると、有効求人倍率が上昇すると、就職率も上昇し、有効求人倍率が低下すると、就職率も減少する関係がみられる。(図 1)。

2. 職業別の有効求人倍率と就職率の動向

有効求人倍率と就職率について、職業別に平成 24 年度から平成 27 年度までの 4 か年度の動向をみると、全ての職業で有効求人倍率は上昇しているが、就職率は職業によって違いがみられる。(図 2) 事務的職業や生産工程の職業などは就職率が上昇したが、保安の職業や建設・採掘の職業などでは就職率が低下した。

3. 職業別の就職率の動向の要因

2 でみた就職率の上昇ポイントを、

- ・就職件数増加要因
- ・求職者の減少要因

の 2 つに分解し、さらに就職件数の増加要因を、

- ・求職登録時の希望職業と同じ職業に就職した件数の増加要因
- ・求職登録時の希望職業と異なる職業に就職した件数の増加要因

の 2 つに分解し、計 3 要因の寄与度分析を行ったところ、以下の特徴がみられた。(図 3)

- ・全ての職業で求職者の減少が就職率の上昇に寄与している。
- ・就職率が上昇した職業(生産工程の職業、事務的職業など)では求職登録時の希望職業と異なる職業に就職した件数の減少幅が、就職率が減少した職業と比べ相対的に小さい。
- ・逆に、就職率が低下した職業(保安の職業、建設・採掘の職業など)では求職登録時の希望職業と異なる職業に就職した件数の減少幅が、就職率が上昇した職業と比べ相対的に大きい。

問い合わせ先

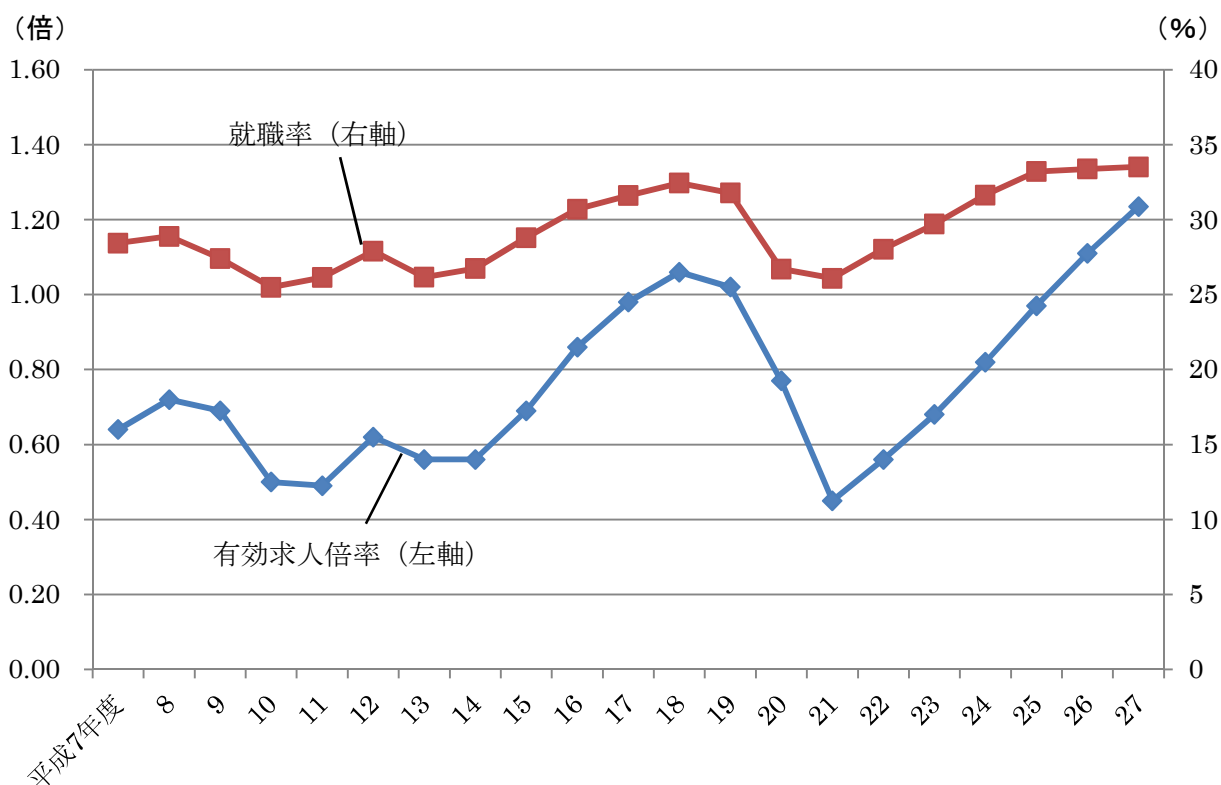
職業安定局雇用政策課

近藤 洋平

岸場 大輔

直通 : 03-3502-6770

図1 有効求人倍率と就職率の推移

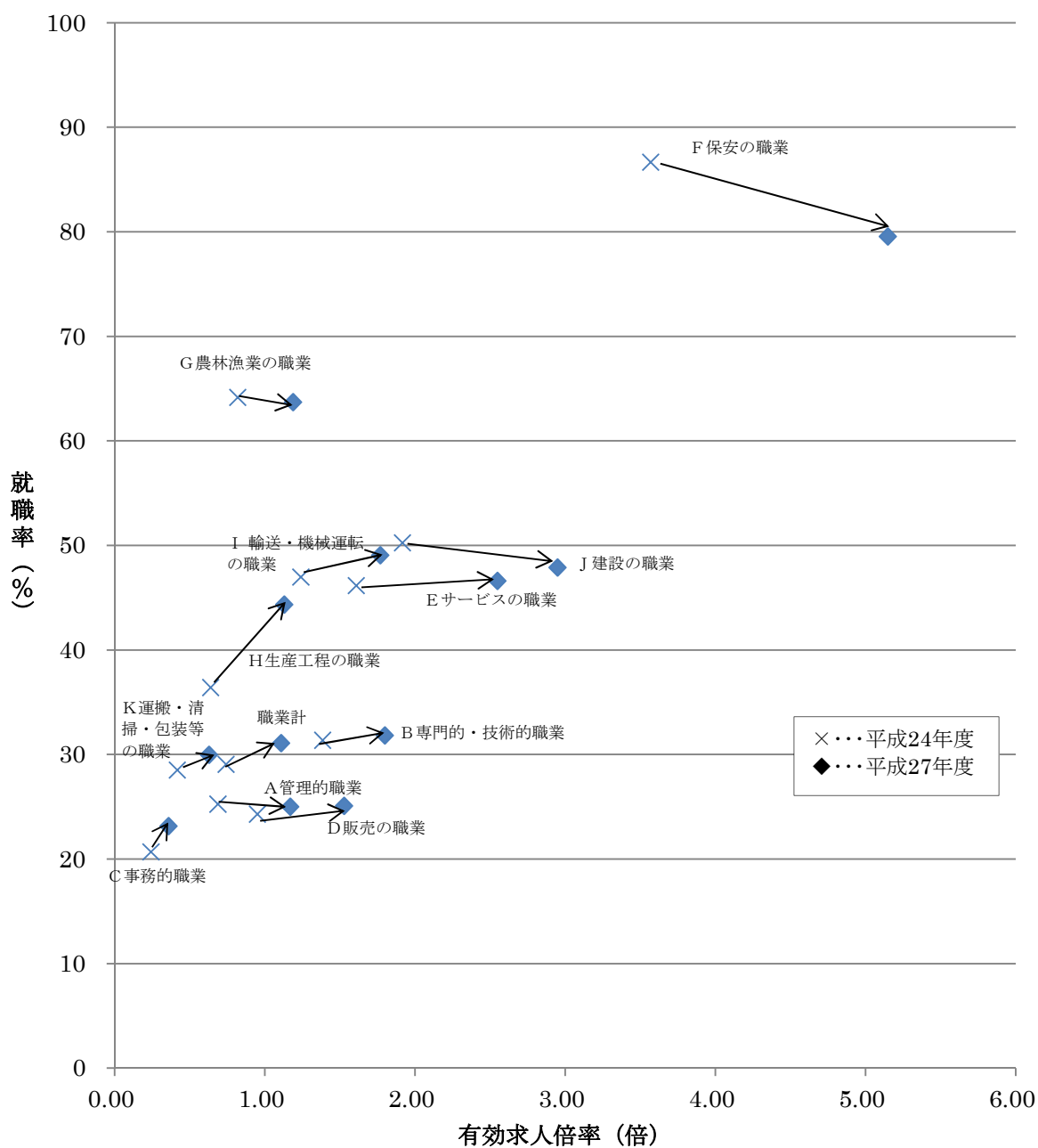


資料出所：厚生労働省「職業安定業務統計」

(注) 1. パートタイムを含む一般の数値である。

2. 就職率は就職件数を新規求職申込件数で除して算出する。

図2 職業別の有効求人倍率と就職率の推移（平成24年度から27年度）

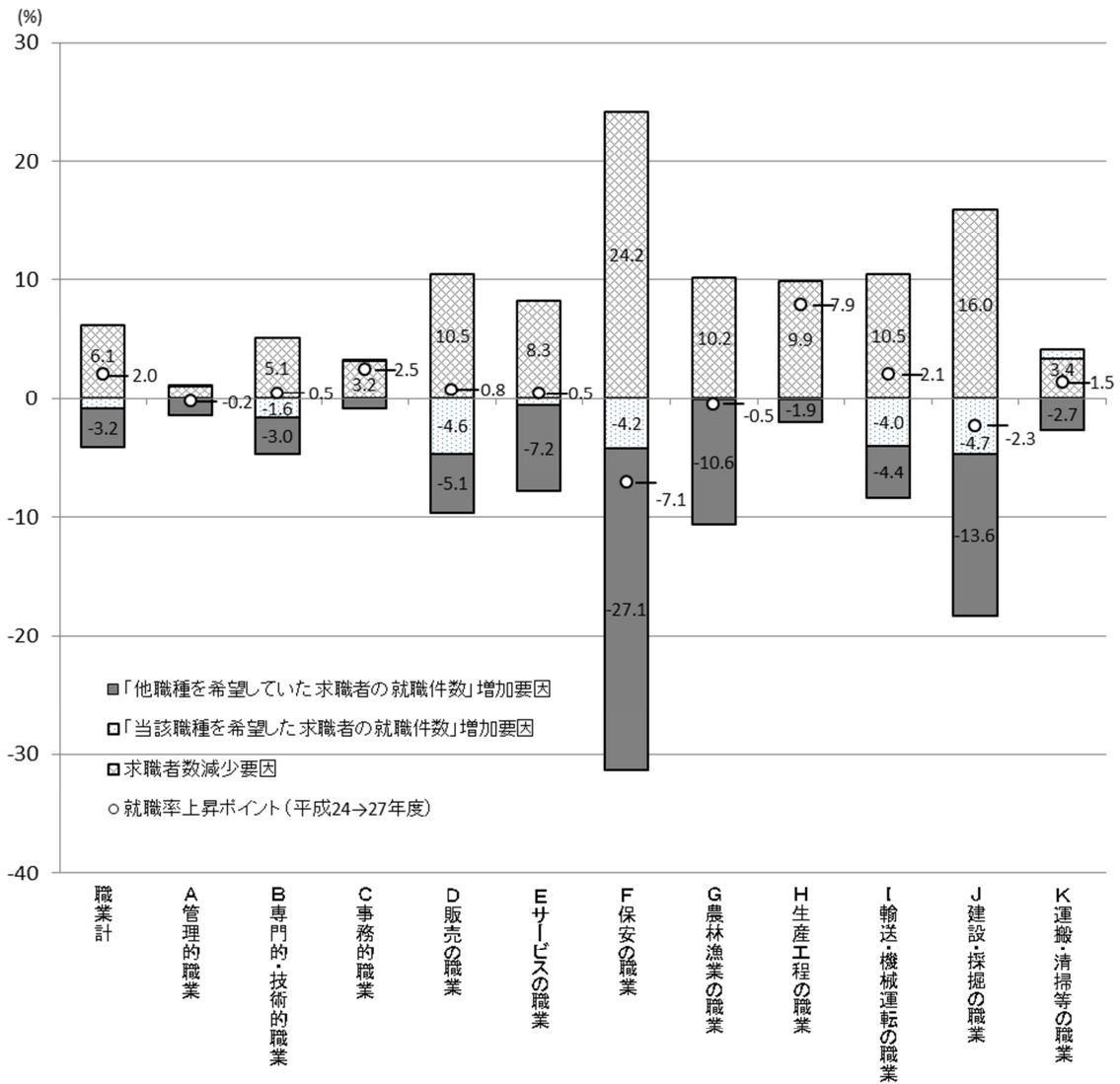


資料出所：厚生労働省「職業安定業務統計」

(注) 1. パートタイムを含む常用の数値である。

2. 職業別の就職率は当該職業の就職件数を当該職業を希望する新規求職申込件数で除して算出する。

図3 職業別の就職率の要因分解（平成24年度から27年度）



資料出所：厚生労働省「職業安定業務統計」

(注) 1. パートタイムを含む常用の数値である。